

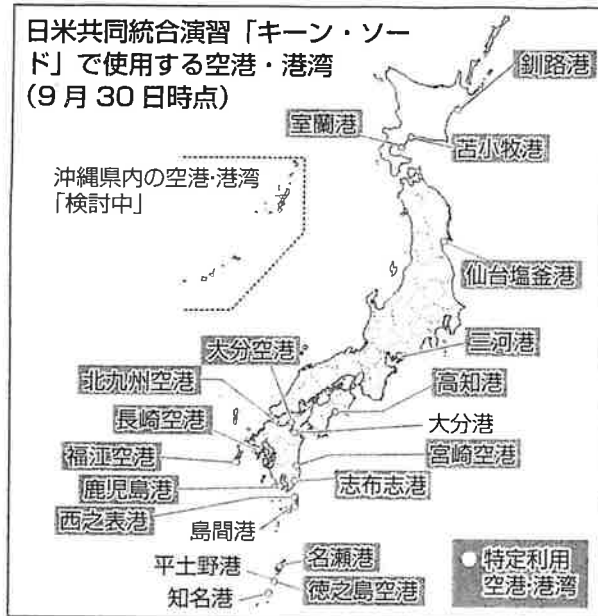
6空港・14港湾で日米演習

19日から今後さらに増加も

国内最大規模の日米共同
統合演習「キーン・ソード
27」(10月19日から実施)
で、少なくとも全国の6空
港・14港湾を使用すること
が本紙の取材で分かりまし
ます。

た。ほかにも調整・検討し
ている施設があり、沖縄県
の空港・港湾も「検討中」
としています。今後、使用
する施設が増えると思われ
ます。

日米共同統合演習「キーン・ソード」で使用する空港・港湾
(9月30日時点)



防衛省担当者によると現
時点では北九州(福岡県)、
長崎、福江(長崎県)、大分、
宮崎、徳之島(鹿兒島県)の
各空港を使用。室蘭、釧路、
苫小牧(いずれも北海道)、
仙台塩釜(宮城県)、三河(愛
知県)、高知、大分、鹿兒島、
志布志、西之表、名瀬、平土
野(へとの)、島間、知名(い
ずれも鹿兒島県)の各港湾
を使います。このうち、自
衛隊などが「平時」から軍
事利用できるよう整備する
「特定利用空港・港湾」は
6空港・10港湾です。

また、同省が作成した鹿
児島県への説明資料による
と鹿兒島、奄美、種子島、
沖永良部の各空港や、種子
島の中山港、屋久津港を使
用すると明記。担当者は「使
用を予定しているが調整中
だ」と述べました。

弾薬や部隊の輸送訓練や
補給訓練などを行います。
自衛隊が民間から借り上げ
た「PFI船舶」を使用。
隊員や車両を北海道の室蘭
港から大分港、西之表港、
名瀬港、平土野港に輸送し
ます。PFI船舶や自衛隊
・米軍の艦船と共同で志布
志港から名瀬港、西之表港、
鹿兒島港に車両や通信設備
を運ぶ訓練を行います。

空港では、同省資料によ
ると那覇基地から戦闘機や
輸送機を徳之島、奄美両空
港に退避させる訓練を行う
としています。戦闘機など
の使用は「調整中」(同
省担当者)としています。

空港の軍事利用を巡って
は、那覇空港(那覇市)で
航空自衛隊のF15戦闘機が
相次いで緊急着陸し、軍民
両用の危険性が浮き彫りに
なっています。8月にはF
15が緊急着陸後に動けなく
なり、約4時間にわたり滑
走路が閉鎖されました。